

水・緑・文化が織りなす

笑顔と共生のまち

かめおか



□ 亀岡市の概要

亀岡市は、京阪神の大都市圏と隣接し利便性に優れた住環境にありながら、四季を織り成す山並に囲まれ、澄んだ保津川がたおやかに流れる自然豊かなまちです。先人から受け継いだ自然と知恵を守り、亀岡らしさを大切にしたい、環境にやさしい、誰もが輝けるまちです。この素晴らしい「ふるさと亀岡」を次の世代に引き継いでいけるよう、「水・緑・文化が織りなす笑顔と共生のまちかめおか」の実現を目指しています。



□国保の概況

平成24年度末における亀岡市国民健康保険の加入被保険者数は、23,788人で、人口92,472人に対し25.7%となっており、4人に1人の市民の方が加入していると言えます。国保世帯数については、年々増加をしており、亀岡市全体の約36.1%となっています。しかし、被保険者数は、被用者保険からの離脱による国保加入が増加をしています、その増加を上回る75歳年齢到達による国保喪失が多くなっているため、結果的には横ばい状態です。

また、被保険者数を年齢階層別にみると、50歳代の加入率が10.2%であることに比べて、60歳代以降の加入率が50.4%であることから、60歳代以降の被保険者だけで全体の5割以上を占めています。

【国保被保険者数の動向（各年度末現在）】 (単位：人)

年度	亀岡市全体		亀岡市国保		加入率	
	世帯数	人口	世帯数	被保険者数	世帯	被保険者
22年度	36,990	93,393	13,257	23,943	35.8%	25.6%
23年度	37,550	93,140	13,421	23,861	35.7%	25.6%
24年度	37,541	92,472	13,569	23,788	36.1%	25.7%

【年齢階層別被保険者数（年度末現在）】 (単位：人)

総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳
23,788	1,289	1,687	1,751	2,322	2,320
100%	5.42%	7.09%	7.36%	9.76%	9.76%

50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	60～74歳 (再掲)
2,433	3,590	4,387	4,009	11,986
10.23%	15.09%	18.44%	16.85%	50.38%

亀岡市の被保険者一人当たり医療費(保険者負担額)は、平成23年度で220,099円、平成24年度で224,462円と1.98%の増加となっており、年々増加傾向にあります。また、京都府下全市平均の医療費よりは、12,880円下回っています。

【一人当たり医療費（保険者負担額）の推移】

(単位：円)

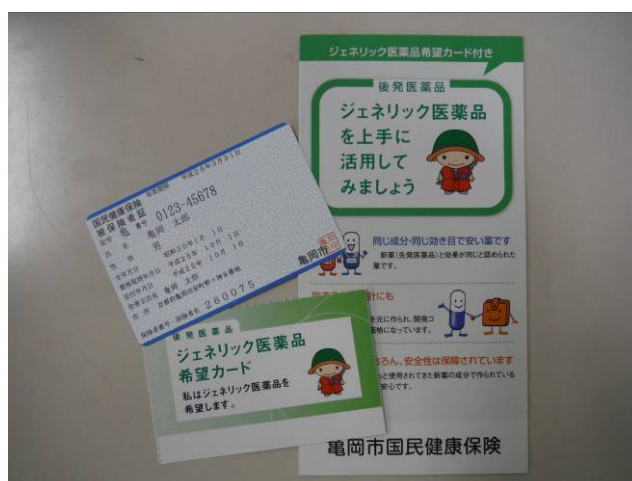
年度	京都府下全市平均	亀岡市国保	差額
22年度	225,341	212,334	△13,007
23年度	233,835	220,099	△13,736
24年度	237,342	224,462	△12,880

□医療費適正化の取組

医療費適正化の取り組みとして、専任嘱託職員により、レセプトの内容・資格点検を実施、第三者行為求償事務については、国保連合会に委託し、実施しています。

平成22年度から、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の普及啓発として、資格取得届出時、保険料賦課決定通知時に意思表示カード等を配布するほか、平成24年度においては利用差額通知を年3回行いました。また、看護師(嘱託職員)により、人間ドック・脳ドック受診者の結果から要指導者を把握し、健康指導・健康相談を行っています。

さらに、平成23・24年度には国や京都府の調整交付金を活用し、糖尿病患者に対して、食事・運動等の生活習慣全般における助言、服薬指導等を行い、重症化を予防、遅延を図る事業を南丹医療圏(南丹市・京丹波町・亀岡市)において実施し、医療費適正化に努めています。



□収納対策

亀岡市は、主な取り組みとして、徴収嘱託員 11 名を中心に夜間及び休日を含む臨戸訪問による未納保険料の納付相談及び納付指導等、きめ細やかな対応を行っています。

ほかにも、短期被保険者証の更新時に特に納付状況が良くない世帯主を呼び出し、現状把握や納付誓約書の提出、納付計画の見直し等を実施し、収納率の向上に努めています。

しかしながら、収納率は低下しており、今後より一層収納率向上のための対策を検討することが必要となっています。

【国保料収納状況（現年度分）】 (単位：%)

年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
収納率	92.22	91.94	92.45	92.32	91.82

□保健事業

被保険者の生活習慣病などの疾病予防、早期発見、早期治療により、健康の保持促進のため人間ドックは 30 歳以上、脳ドックは 40 歳以上の受診者に対し、受診費用の助成をしており、さらに歯周疾患健診の実施など保健事業の推進に努めています。

また、生活習慣病の予備群を減少させ、被保険者の健康増進と医療費抑制を図るため、特定健康診査・特定保健指導を実施しています。未受診者対策としては、健診実施期間の延長、土日の集団健診などにより受診者の健診機会の充実に努めています。

【人間ドック・脳ドック受診者数等】 (単位：人)

年 度		20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
人間ドック	定 員	500	500	500	500	500
	受診者数	353	317	335	396	450
脳ドック	定 員	260	260	300	200	200
	受診者数	217	224	246	181	188
取扱医療機関数 (人間／脳ドック)		4／2	5／3	5／3	5／3	5／3

【特定健診受診者数等】

(単位：人)

年 度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
対象者数	14,939	15,118	15,010	15,213	15,453
受診者数	4,884	4,252	4,438	5,189	5,330
受診率	32.7%	28.1%	29.6%	34.1%	34.5%

